

DXに関する当社の取り組み

メッセージ

環境変化や将来における人口減少などを受けてデジタル化が急速に進む中、経営におけるDXの重要性がますます高まっています。当社は、兼ねてよりITの重要性を認識し、そこに重きを置いた経営を推進してきましたが、システムの老朽化やIT人財の育成・確保、環境変化への迅速・柔軟な対応など、長期的な課題を認識し、2022年度に「中長期IT戦略」を策定し、横断的組織を立上げ、その取り組みの推進を図っております。

組織や経営における課題は、DXや仕組み化によって改善・変革する余地が多く残されていると認識しており、営業面では、顧客生涯価値の最大化、顧客価値の創出を目指し、スピード感を持った営業施策の展開や広告のデジタル化、セルフPOS導入などを推進します。また、バックオフィスでは、BIツールなどによる営業データの分析活用に加え、営業・会計・人事データなどを複合したデータ分析、RPAなどによる業務自動化、コミュニケーションツールや生成AIの活用などを推進し、更なる生産性向上を図っていきます。さらに「2024年度中期経営計画」では、「生産性向上戦略」として、「DXの推進（情報技術・デジタル技術の活用による業務改革）」を掲げ、「DX推進方針」の「デジタル化による生産性向上」を推進し、社員の働きがいを高め、企業価値の向上と信頼感のある会社を目指してまいります。

株式会社ABC 代表取締役社長 富田 和宏

DX推進方針

中期経営計画

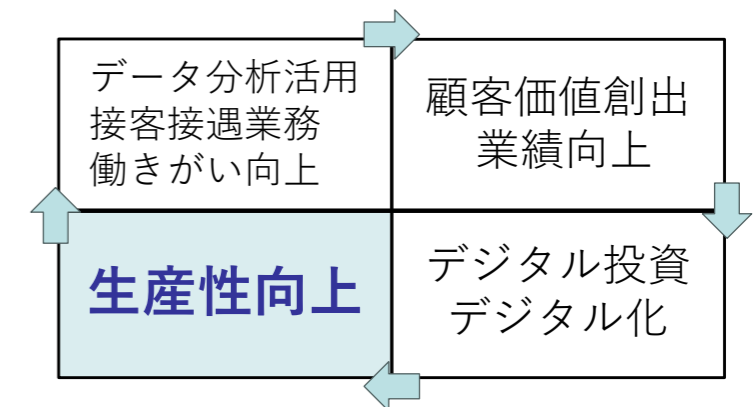
戦略戦術
DXの推進

DX推進方針・目標

デジタル化による生産性向上

(業務効率化 × 付加価値向上)

業務プロセスの改善やデジタル化による効率化を推進し、データの分析活用や接客時間、より働きがいのある業務に振り向け、顧客価値創出や事業・収益性の向上につなげ、それをDX投資やデジタル化推進に結び付けることで更なる好循環を生み出します。



現状と課題

現状では、基幹システムの構築や更新、システム間のデータ連携、クラウド化、グループウェアの活用、RPA導入などの取り組みが進行しており、効率化、コスト削減など一定の成果を上げることができています。

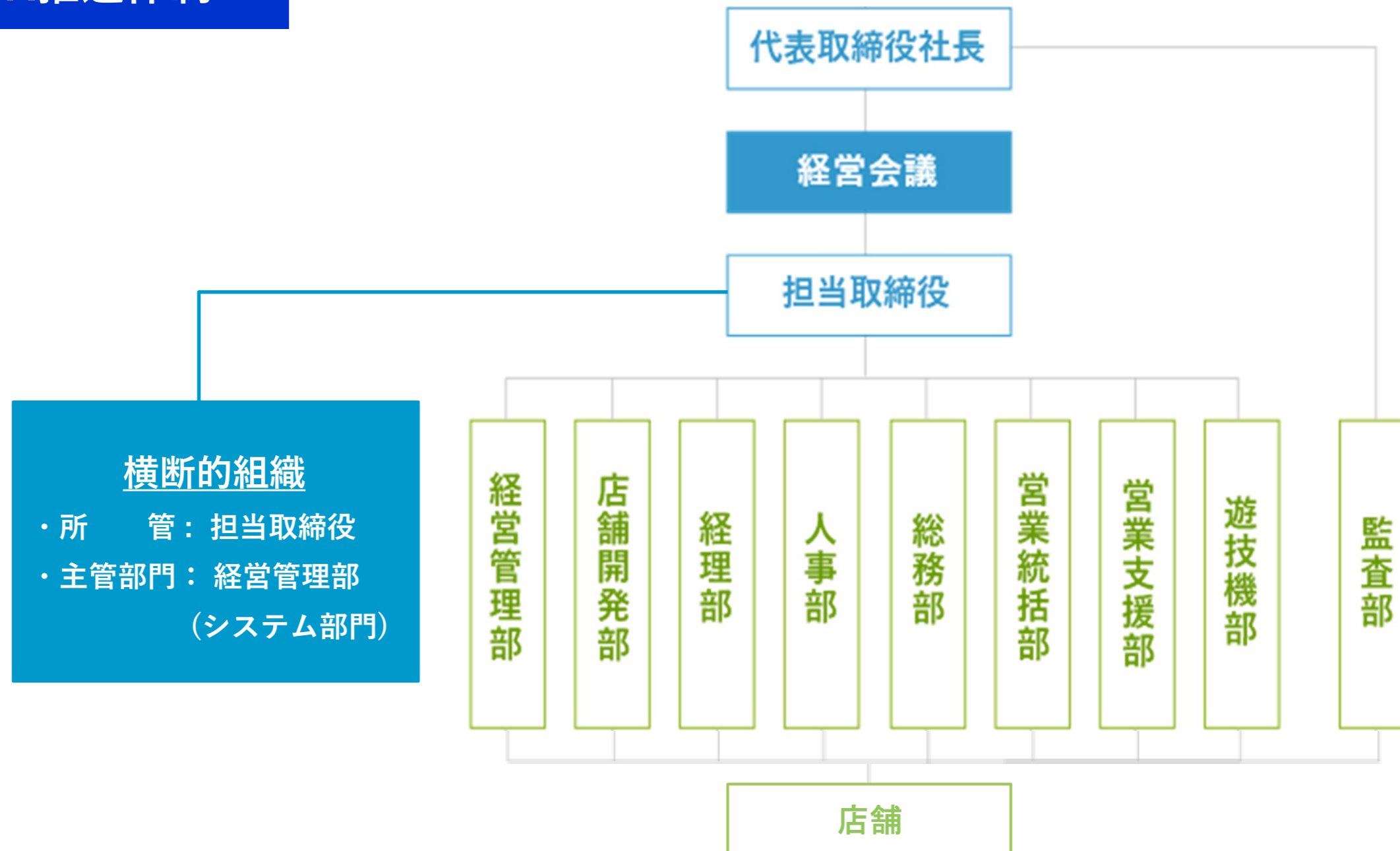
その一方で、将来の人口減少やデジタル化などを踏まえたDXに関連する課題として、既存システムの老朽化対策とセキュリティの強化、デジタル活用の推進、DX人財の育成・確保、生成AIなどの最新ツールの活用やその事業への反映などに加え、データ活用による新たな顧客価値の創出などによる競争優位性の確保などが挙げられます。

DX戦略

課題解決に向けて、以下の3つのテーマを主な取り組み目標（3ヵ年）とし、毎期、評価・見直し、次のアクションに繋げていく。

テーマ	主な取り組み目標	KPI
1.デジタル化と環境整備	<p>(1) ペーパーレス化の推進とデータ活用の最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①申請書や帳票、契約書などの電子化、ペーパーレス化とリモート化の一層の推進 ②電子化、デジタル化によるデータ分析・活用の促進 <p>(2) セキュリティの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①セキュリティ方針の見直しやリスクの啓蒙、研修などによるリテラシー向上 ②セキュリティツールや不正検知などによるセキュリティ強化を推進 <p>(3) クラウド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①基幹システム（レガシー）を中心に、業界プラットフォーム活用（クラウド化）などによるコスト・運用負荷の軽減と柔軟性の向上、データ活用基盤の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・書類棚減 <u>10%削減</u> ・ワークフロー化・データ活用推進 <u>10%上昇</u> ・クラウド化率 <u>37%→50%超</u>
2.人財の育成・確保と最適なDX推進体制の構築	<p>(1) DX人財の教育・育成体制の整備・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①社内外のDX研修受講、各種資格取得の促進 ②社内公募やOJTなどによるDX推進人財の育成促進 ③DX推進プロセスや啓蒙などを通じたDXリテラシーの向上 <p>(2) 外部資源活用を含めたDX人財の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ①DX推進に精通した外部資源（パートナー企業）活用や、自治体等の支援策の活用 <p>(3) 最適なDX推進体制への見直し、構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IT関連資格取得促進 ・DX関連研修受講促進 ・パートナー企業との協力体制維持と開拓 ・最適なDX推進体制の構築
3.デジタル活用の推進	<p>(1) デジタル(IT)活用による更なる生産性向上と未来を見据えた改革・革新</p> <ul style="list-style-type: none"> ①顧客や営業施策、遊技機、損益データなどのBIやAIなどでの分析・効果検証・活用推進により、意思決定の迅速化や精緻化に加え、効果的な次の施策や新たな展開による顧客価値の創出 ②バックオフィスにおける見積り、契約、請求データなどをデジタルツールやRPA、APIの活用により、外部取引先などを含む一気通貫の仕組み化、シングルインプット化を基本とする購買プロセスの効率化・自動化を推進 ③デジタルツールの導入・活用と人事給与や遊技機、契約などのデータ活用・分析などによる申請手続きなどのペーパーレス化・自動化を推進 ④デジタル広告において、自社ランディングページを使用した訪問者データ収集とリターゲティングによる広告効果の向上 ⑤AIによる画像生成、音楽生成、ナレーション生成を活用した営業効果向上と業務効率化 ⑥セルフPOS導入による生産性と顧客利便性の向上 ⑦コミュニケーションツール、グループウェアなどによるナレッジの蓄積・共有と課題解決の迅速化、AIロボットなどによる社内の問合せ対応などの効率化・自動化を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務自動化・業務改革業績向上・価値創出 <u>10件増加</u>

DX推進体制



横断的組織

- ・ 所 管： 担当取締役
- ・ 主管部門： 経営管理部
(システム部門)

2022年度に組成した”横断的組織”を活用してDXを推進しつつ、変化に応じて最適なDX推進体制への見直しも図っていく
 その他関連した活動として、ペーパーレス化（電子化）の推進やコミュニケーションツール導入拡大の推進についてもDX推進同様 “横断的組織” を組成し推進を図っていく

これらの活動や各部門毎のシステム更改時の支援連携、最新ツールの研究・共有、OJTや研修、社内公募、外部パートナーの活用・連携を通じて、DX人財の育成・確保を図っていく

セキュリティ方針

情報セキュリティポリシー

全てのステークホルダー（社員、お客様、お取引先・地域）からの期待に応え、安心と信頼を頂くため、情報セキュリティポリシーを以下の通り定め、これを実行し、かつ、維持することを宣言します。

- (1) 当社が保護すべきは、当社が取り扱うすべての有形・無形の情報資産とします。
それら情報資産には当社の情報のみならず、お客様から預かっている情報資産も含まれます。
- (2) 当社は、情報資産を不正な改ざんや漏洩、サービスの妨害から保護する責任者として「情報セキュリティ統括責任者」を任命します。
- (3) 当社は、取り扱う情報資産に応じて、最適な情報セキュリティ対策を講じるものとします。
- (4) 社員は、定められた情報セキュリティ対策に準じて行動します。
万一、違反行為が認められた場合には、社内規程に定める懲罰を受けます。
- (5) 当社は、個人情報保護法をはじめとする関連する法規制を遵守します。
- (6) 当社情報セキュリティ対策は、「情報セキュリティ担当部門」で推進を図ります。

